

交
流
っ
て
な
ん
だ

自
分
っ
て
な
ん
だ

文化交流学科

DEPARTMENT OF CROSS-CULTURAL STUDIES

IGARAKI CHRISTIAN UNIVERSITY

茨城キリスト教大学

〒 319-1295 茨城県日立市大みか町 6-11-1

phone : 0120 - 56 - 1890 (入試広報部)

url : <https://www.icc.ac.jp/>

mail : nyushi@icc.ac.jp

RONGO² 編集部チラシシリーズ no.1





「世界」も「地元」もフィールドとし
現地で発見したテーマを徹底追究する

文化交流学科の学びは、キャンパスに収まりません。

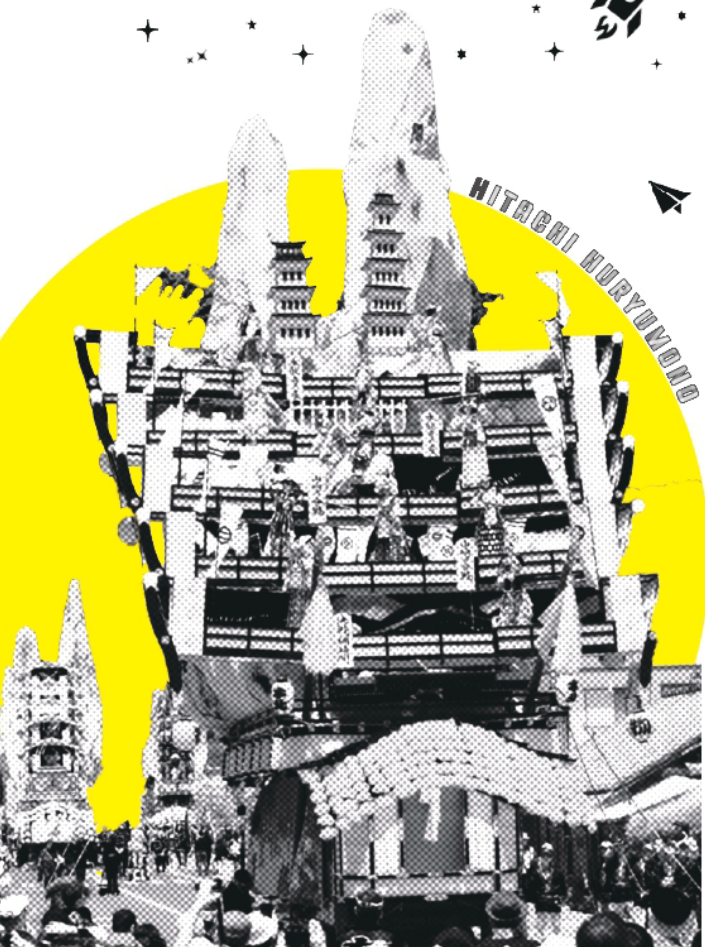
海外や日本各地に足を運び、現地の文化や生活、自然や気候などを、
五感を働かせて体験します。

さらに現地で感じたものを学問的に理解し、その魅力や特色を
学生と教員との協働を通して発信する力を養います。

「日本各地」には、学生一人ひとりのふるさと、もちろん含まれます。

世界に旅立ったり、地元へ根ざしたりして学びを深めていくなかで
自身のテーマを見つけ、思う存分に納得がいくまで追究する。

その場所が文化交流学科です。



グローバル＆ローカルな視野を兼ね備えた国際人になる。

C-C STUDIES WORKS



近い、いろいろ。

文化交流学科

#世界的遺産に近い
#人と心に近い
#最寄り駅に近い



#世界的遺産に近い

日立風流物とは、江戸時代より伝わる巨大な山車です。ユネスコ無形文化遺産、
国の重要文化財に指定されたそれは、間違いなくふるさとの誇り。
文化交流学科は、そんな国と世界に価値を認められた「宝物」と日本一近い学科
です。特別な授業やボランティアを通し、その伝統を学び、体験できます。

#人と心に近い

茨城キリスト教大学は、「相談できる相手がいる大学ランキング※」で全国1位
に輝いたことがあります。「人」と「心」に近い大学なのです。
文化交流学科の先生もやはり、とても気さくで、学生に対して真摯に向き合っ
てくれる方ばかり。もちろん、経験と実績もお墨付きです。

#最寄り駅に近い

「そんなこと？」と侮るなかれ。毎日のように通う大学だからこそ、アクセスの
良さは重要です。通学時間が短くなるほど、自由に使える時間が増えます。
元々駅チカの大学でしたが、近年行われた改修工事によってなんと「駅から1分」
の大学に。是非一度、キャンパスを訪れてみてください。

※ [2016年度版大学ランキング] (朝日新聞出版)



SOMEYA
TOMOYUKI



「交流」とは自分探しの旅です 学科主任 染谷智幸

「文化交流」という言葉には、「様々な国や地域の文化を交流させることによって国や地域が活性化する」という意味と、「交流することによって新しい文化が
生まれてくる」という二つの意味があります。どちらも大切ですが、とくに二つ目に注目しましょう。皆さんも新しい人との出会いによって自分が変わった
という経験がありますよね。その場合、その新しく出会った人から何か影響を受けた、何かをもらったということなのでしょう。もちろんそれもありますが、
その出会いによって今まで気づかなかった自分の可能性に気づいたということが大きいのではないですか。

文化交流学科が目指すのは、そうした新しい出会いによって広がる自分の発見です。その新しい出会いは、アジアやヨーロッパなどの広い世界にはもちろん、
日本や茨城・日立などの自分の身近な地域にもあるんですよ。

さあ、新しい自分に出会う旅に出発しましょう。



RONGO = 「ロンゴロンゴ」は文化交流学科の学生がつくる広報誌です。
制作・編集 RONGO 編集部：小岩美帆